

提出順	7	発言順	6	令和5年11月28日 午前・午後 10時50分受領
-----	---	-----	---	------------------------------

(3 枚中No. /)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	自衛隊への住民名簿の提供はやめるべきではないか		

質問の要旨（具体的に記載してください）

令和2年9月議会では「自衛隊募集事務があり、法に基づいた住民基本台帳の閲覧によるものだ」と前市長は答弁した。令和5年9月議会では、これまでの「閲覧」から「除外申請者」を除き、担当部局が該当者名簿（以下適格者名簿とする）を作成して自衛隊に提供するとし、その根拠に、自衛隊法第97条、自衛隊法施行令120条、さらに令和3年度の防衛省人事教育局人材育成課長及び総務省自治行政区住民制度課長の通知（特段問題がない）をあげた。これらについて伺う。

- ① 今回新たに紙媒体での名簿提供に協力することを決めたのは、どのような理由からか。
- ② 「名簿提供」は個人情報保護の原則に違反するので、名簿提供はできないと考えるが。
- ③ 「名簿提供」は憲法22条「職業選択の自由」を制限するので、「公務」としての名簿提供はできないのではないか。
- ④ 「名簿提供」により各個人に自衛隊からの勧誘があったとき、それを「圧力」と受け取る個人もありうるので、「公務」として名簿提供を行うべきではないのではないか。
- ⑤ 市民の中には自衛隊について様々な考えがあり、これを無視して「名簿提供」を「公務」として行なうことは避けなければならないので、名簿提供はやめるべきではないか。
- ⑥ 今までなかった除外申請をした市民としなかった市民に対して社会的な差別（差別）が、新たに持ち込まれる危険があるので、「公務」として名簿提供を行うべきではないのではないか。
除外申請書の扱いはどうなるか。破棄され利用されないと保証はあるのか。
- ⑦ 名簿を作成するというなら、まず該当者全員の意志を確認するのが先決ではないか。それを行わず除外申請としたのはなぜか。
- ⑧ 以上の問題から、名簿提供をやめ、閲覧に戻すべきだと考えるがいかがか。

提出順	7	発言順	6	令和5年11月28日 午前・午後 10時50分受領
-----	---	-----	---	------------------------------

(3枚中No.2)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長			
<input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	安曇野市は「新農業基本法」に対してどのように臨むのか		

質問の要旨（具体的に記載してください）

あづみ農協農政協議会の「農政学習会」が11月17日に開催された。そこで発表された「地域計画策定」について、今後安曇野市の農業をどのように展開しようとしているのかを伺う。

- ① 2020年の農業従事者は2718人で10年前より4割減、年齢構成は70歳以上が1654人で60.9%、70歳未満は1064人で39.1%。12年後の農業従事者は1064人で2020年より6割減、年齢構成も6割強が85歳以上となる。これでは安曇野市の農業は成り立たないと考えるが、安曇野市としてどのような取り組みを考え、何から手を付けようとしているのか。
- ② さらに報告では農業者激減に備えるのは今と「地域計画策定」を謳っているが、この国の方策に将来の農業を展望する希望があるのか。あるとすればそれはどのようなものか。国は主として栽培する作物や10年後の耕作予定者を農地地図に記入して備えるとしているが、果たしてこのようなことが現実問題としてできるのか。誰がこのような作業をするのか。市が考える主要作物や生産地化の将来像はあるのか。
- ③ 国の進める「新農業基本法」は「食料安全法」になるのではという危惧がある。すでに国は2012年に「緊急事態食料安全保障指針」を決めており、「安保三文書」によって急速に戦争する国づくりを進めている。これは国民の食料を奪い、国民にはイモを食べさせ、軍隊に米を供出させるものではないか。仮定の話ではなく、このようなことを市はどうに考えるのか。
- ④ 学校給食や公共的施設での地産地消の拡大と有機的栽培による付加価値、環境保全型農業への積極的な支援によって、安曇野の水源涵養と景観を守る農業を展望すべきではないか。国に対しては、「新農業基本法」には農家の所得保障や農産物の価格保障、新規就農者への大きな支援、そして食料自給率を引き上げる目標を明記させ、国会報告を義務づけるようなものになるよう、農家、農協、関係諸団体や他自治体とも連携し、強く求めていくべきではないか。

提出順	7	発言順	6	令和5年11月28日 午前・午後 10時50分受領
-----	---	-----	---	------------------------------

(3 枚中 No. 3)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 井出 勝正

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長			
<input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	槍ヶ岳開山200年が目前だが、播隆上人や案内人中田又重を顕彰し、三郷地区はもとより安曇野市を盛り上げる取り組みをすすめるべきではないか		

質問の要旨（具体的に記載してください）

2028年は槍ヶ岳開山200年となる。開山は念佛行者の播隆上人によって行われたが、道案内人は南小倉の中田又重であり、播隆上人の偉業を広く深く支えたのは、三郷（長尾や野沢など）の人々はもちろん安曇野の多くの人々であった。そこで次のような事業を提案し、市の考えを伺う。

- ① 安曇野市として槍ヶ岳開山200年記念行事や事業を、播隆上人や中田又重をメインに企画し全国にアピールしたらどうか。
- ② 記念事業では、播隆上人像は松本駅前に立って「岳都」松本を誇っているように、安曇野市として播隆上人像と中田又重像の二像を、かつての飛州新道や槍ヶ岳開山の基地となった小倉地区などに建立したらどうか。
- ③ 播隆上人や中田又重の偉業を広く市民に知つてもらい郷土の誇りとして末永く後世に伝えるために、開山事業の展示や二人の伝記などを作り普及したらどうか。
- ④ 播隆上人像（朝日村：上條俊介作）と中田又重像（穂高：小川大系作）の制作者の2人は、共に北村西望の弟子で互いに支え合った仲と聞く。とりわけ地元出身の小川大系の作品に光を当て、上條俊介作品もお借りして展示する二人展を開催したらどうか。